

目次

デバイスの追加	1
BioStar 2サーバーにデバイスを追加	1
RS-485インターフェースを通じてアクセスされたスレーブデバイスの追加	5
動画デモ	7

デバイスの追加

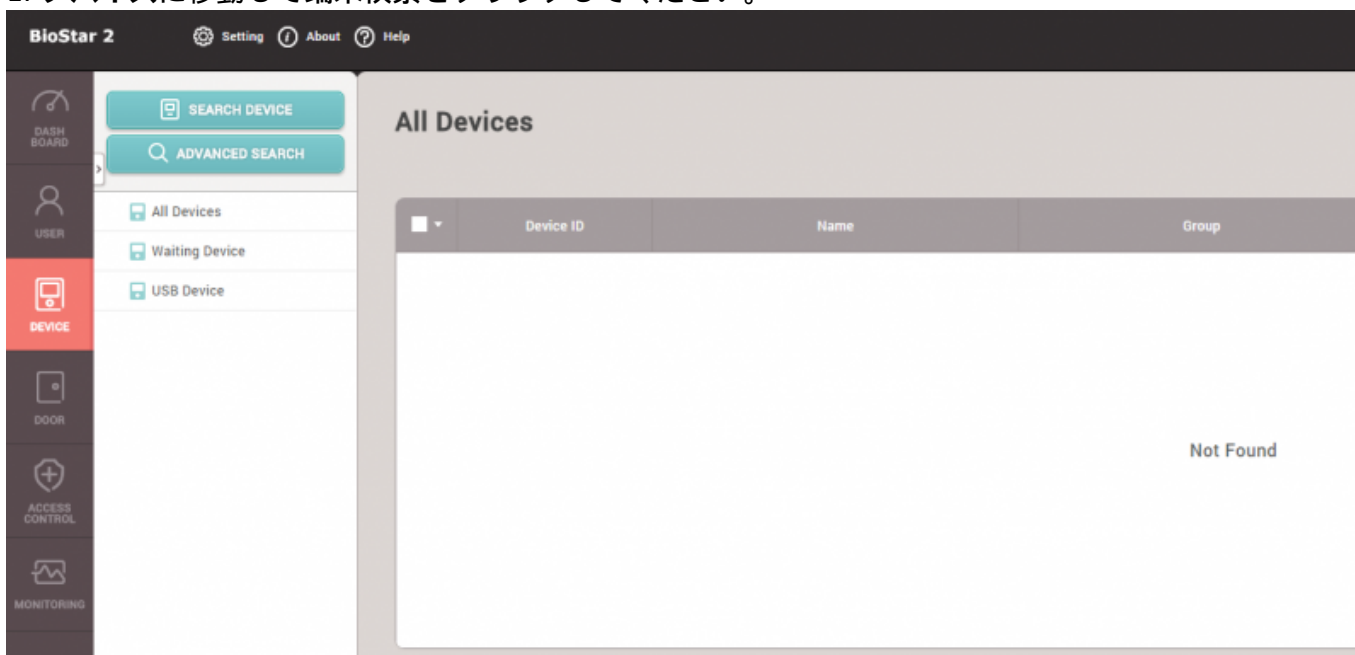
BioStar

2は、2つのアクセスモードをサポートします。詳細内容は、基本過程の内容を確認してください。

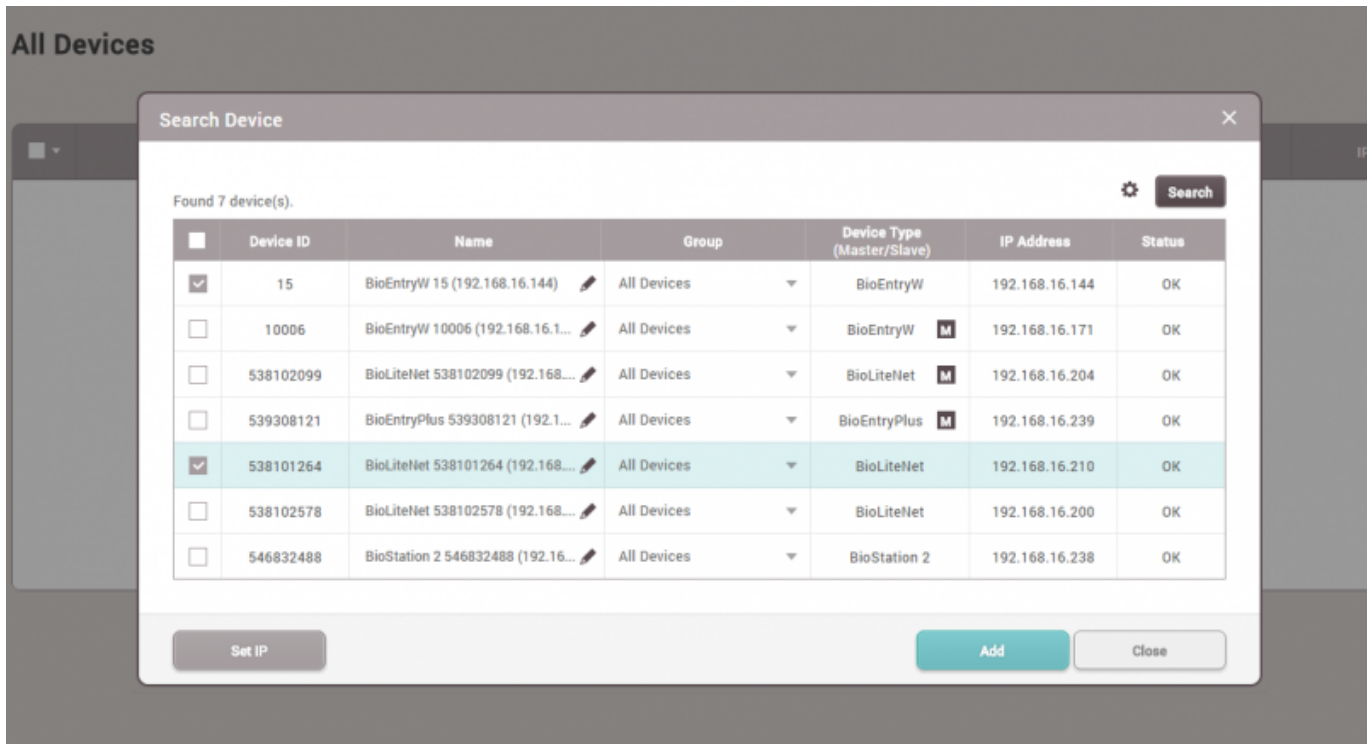
機能	BioStar 1.x		BioStar 2	
モード	ダイレクト	サーバー	デバイス→サーバー	サーバー→デバイス
リアルタイムログアップデート	クライアントにのみ	0	0	0
	X	0	0	0

BioStar 2サーバーにデバイスを追加

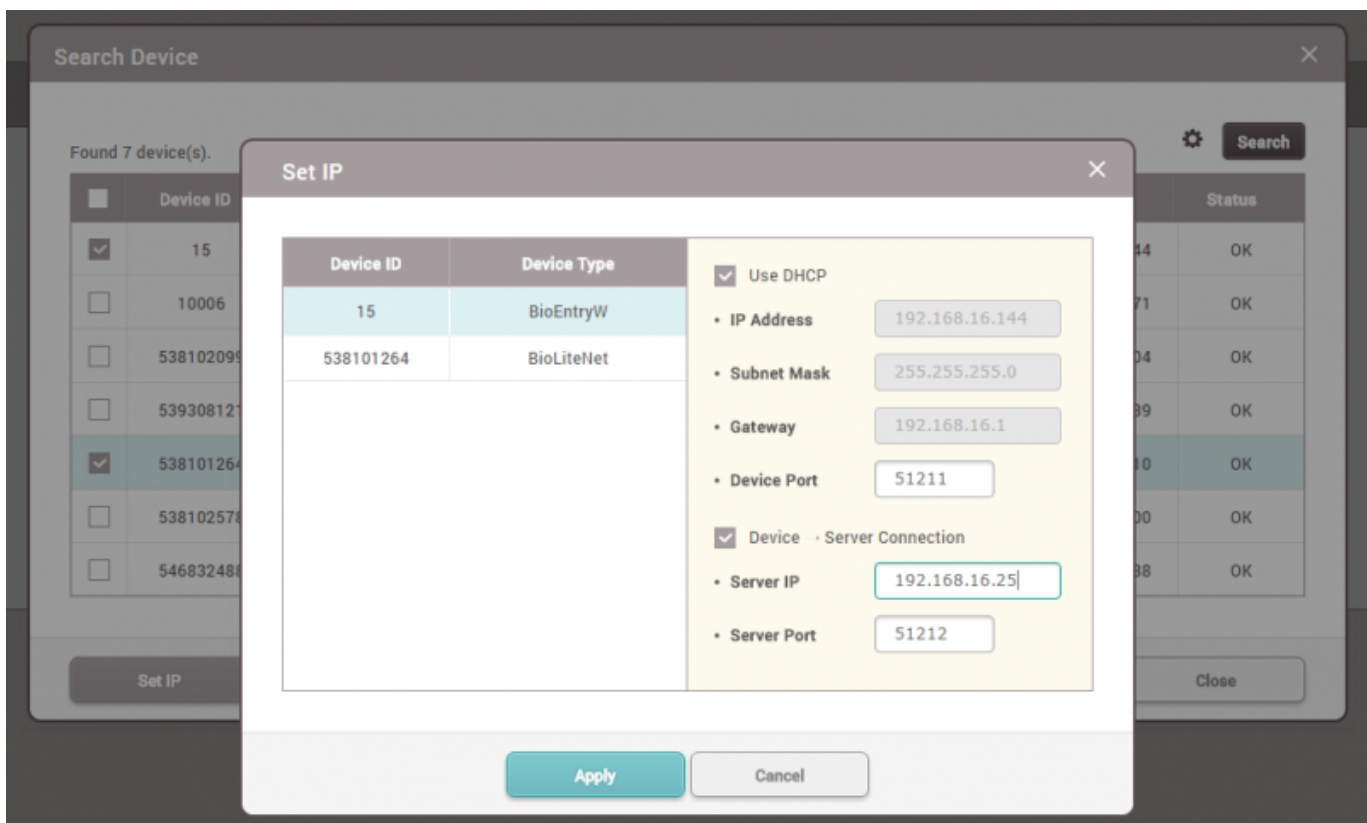
1. デバイスに移動して端末検索をクリックしてください。



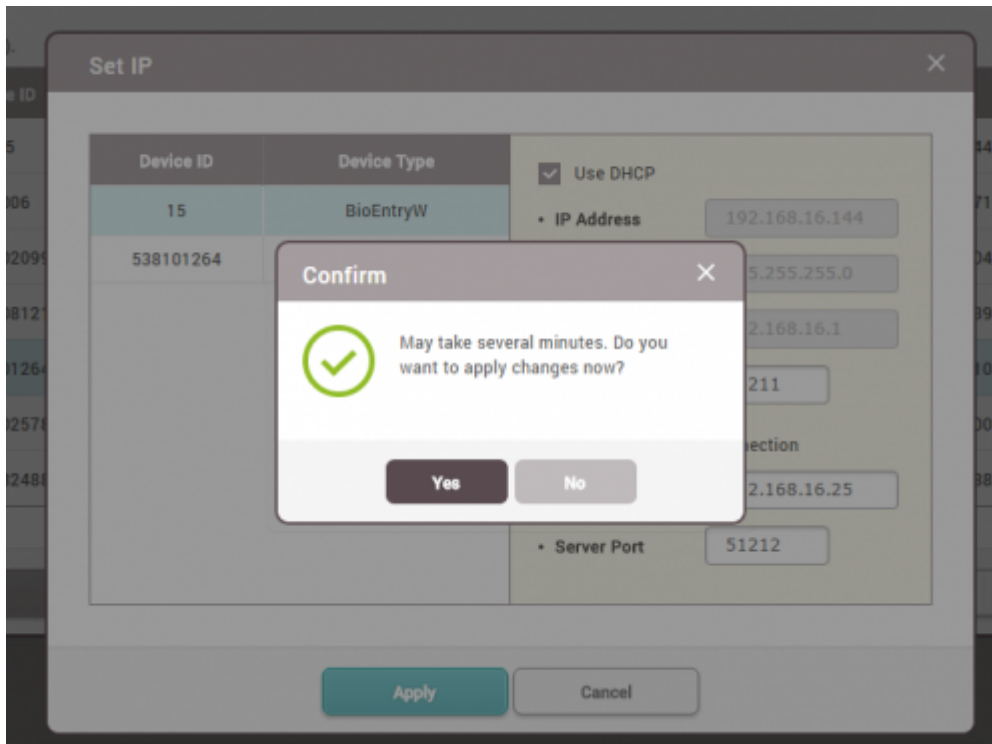
2. サーバーに追加するデバイスを選択します。BioStar 2には、**デバイス→サーバー**および**サーバー→デバイス**の2つの通信モードがあります。この2つに機能上の違いはありません。しかし、**デバイス→サーバー**の方向は、指定されたサーバーからのデバイスリンクが変更されたり切れたりするのを防止することができます。



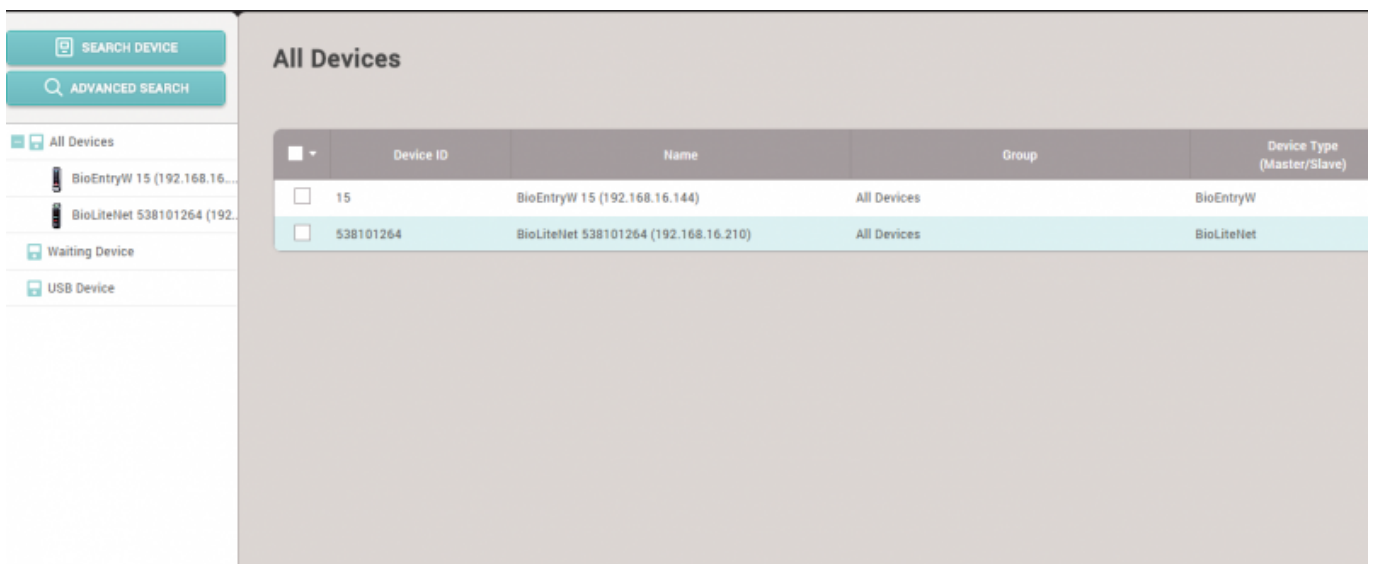
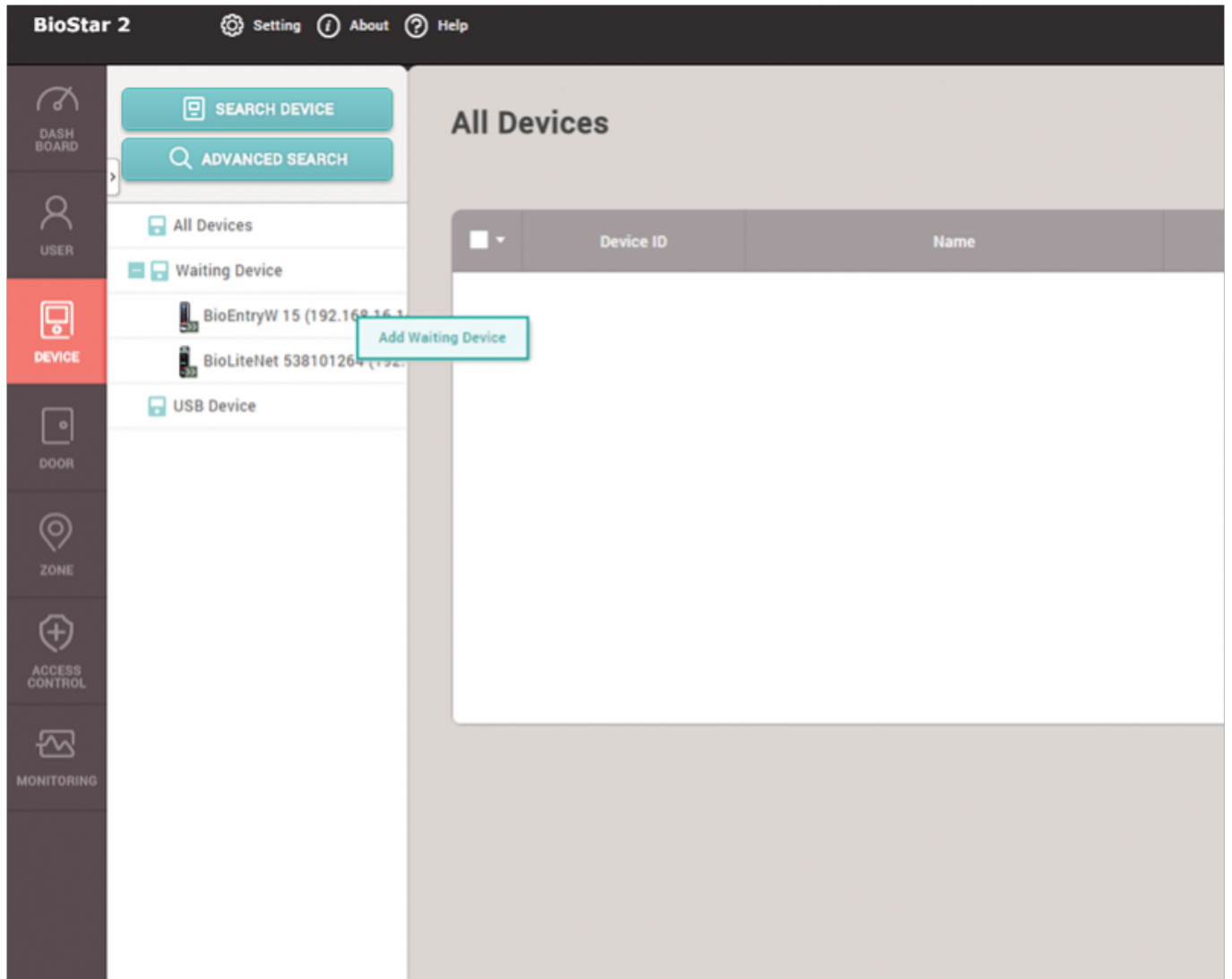
デバイスのIPアドレスを変更したり、通信モードを**デバイス→サーバー**に変更するには、追加ボタンの代わりに**IP設定**をクリックしてください。



3. サーバーIPアドレスを設定して適用をクリックすると、デバイスが自動的にアクセスを試みます。

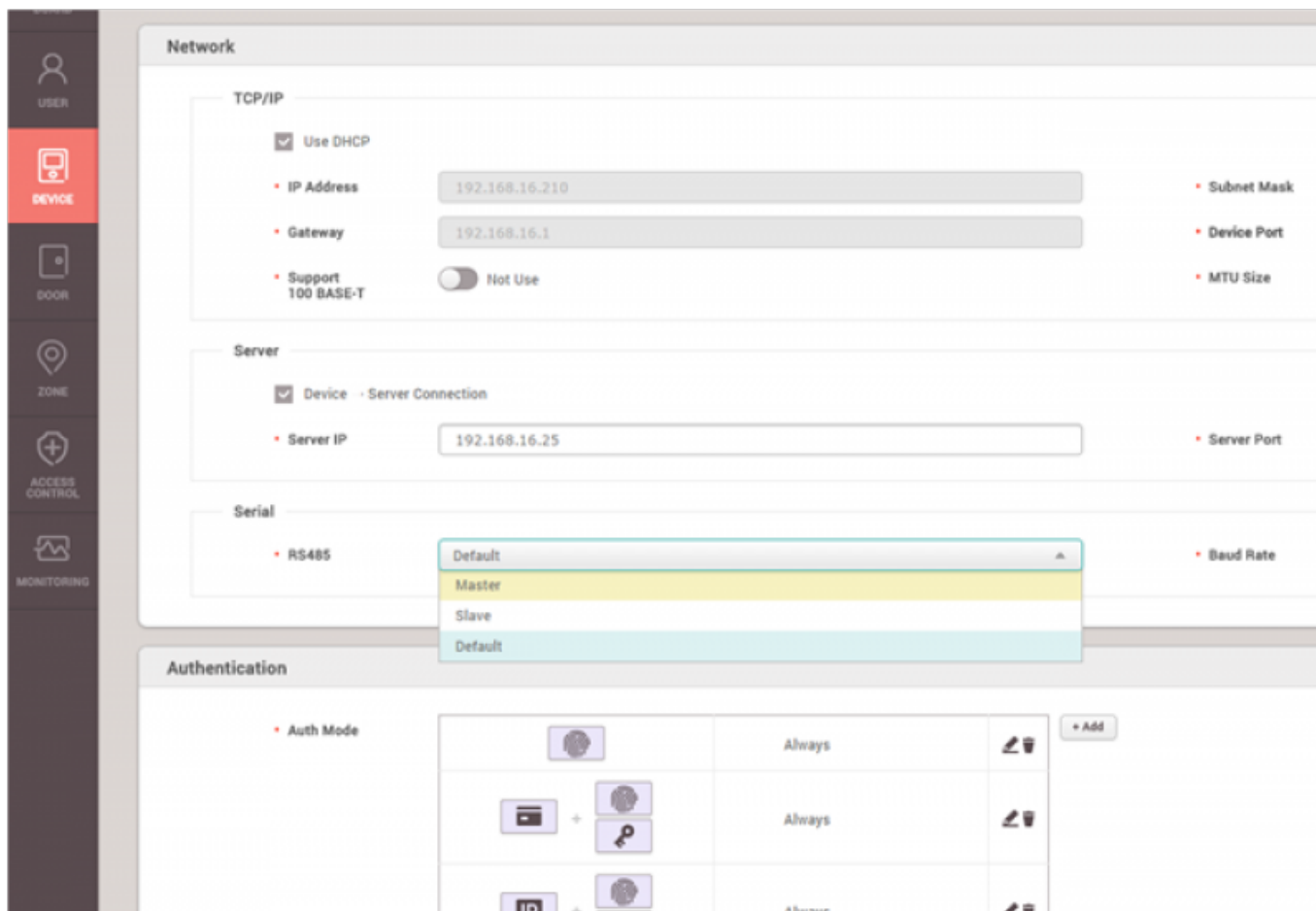


4.
デバイス→サーバー方向の場合、デバイスが待機デバイス
リストに表示されます。ブラウザで更新ボタンをクリックして、アクセスを確認してください。BioStar 2がデバイスを認識したらデバイスツリーでマウスを右クリックし、さらに**登録待機デバイス追加**ボタンをクリックしてデバイスを確認すると、サーバーに追加することができます。



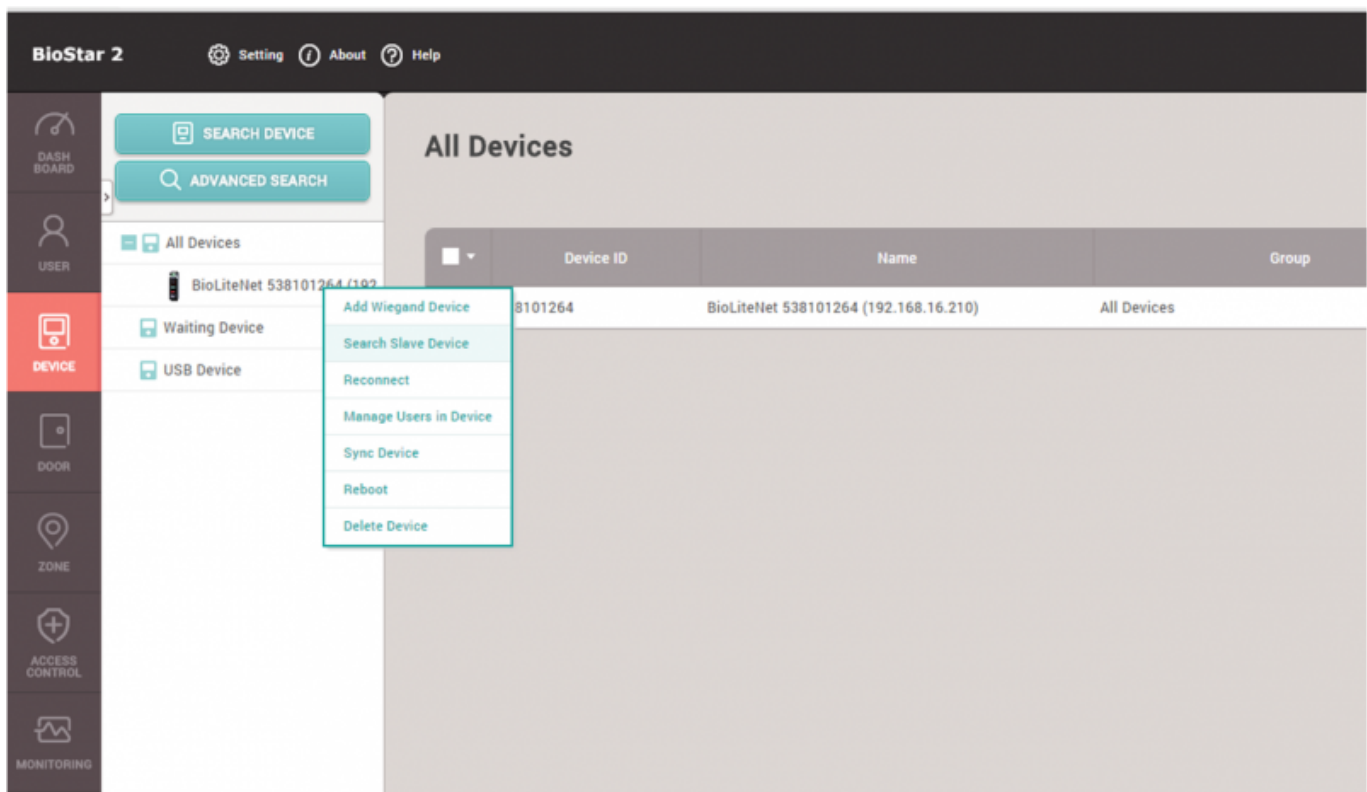
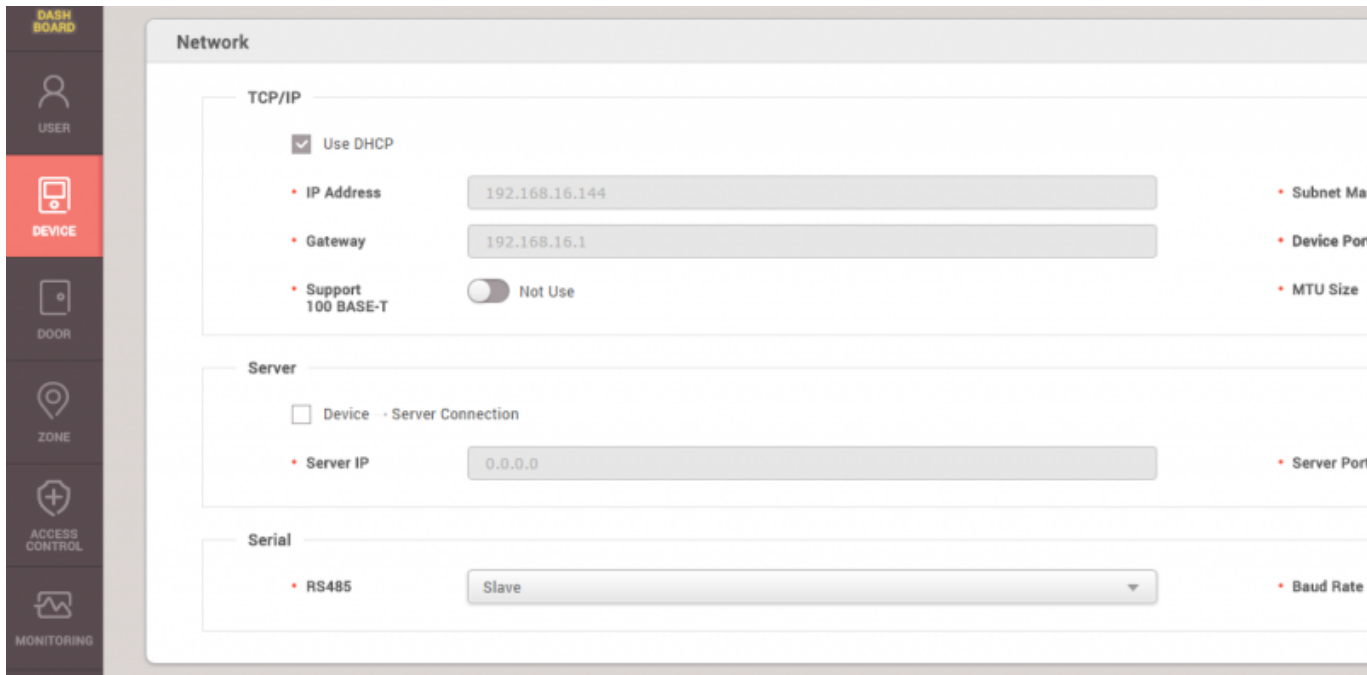
RS-485インターフェースを通じてアクセスされたスレーブデバイスの追加

1. 物理的デバイスのリンクを確認して、デバイス設定からデバイスをマスターデバイスに変更します。

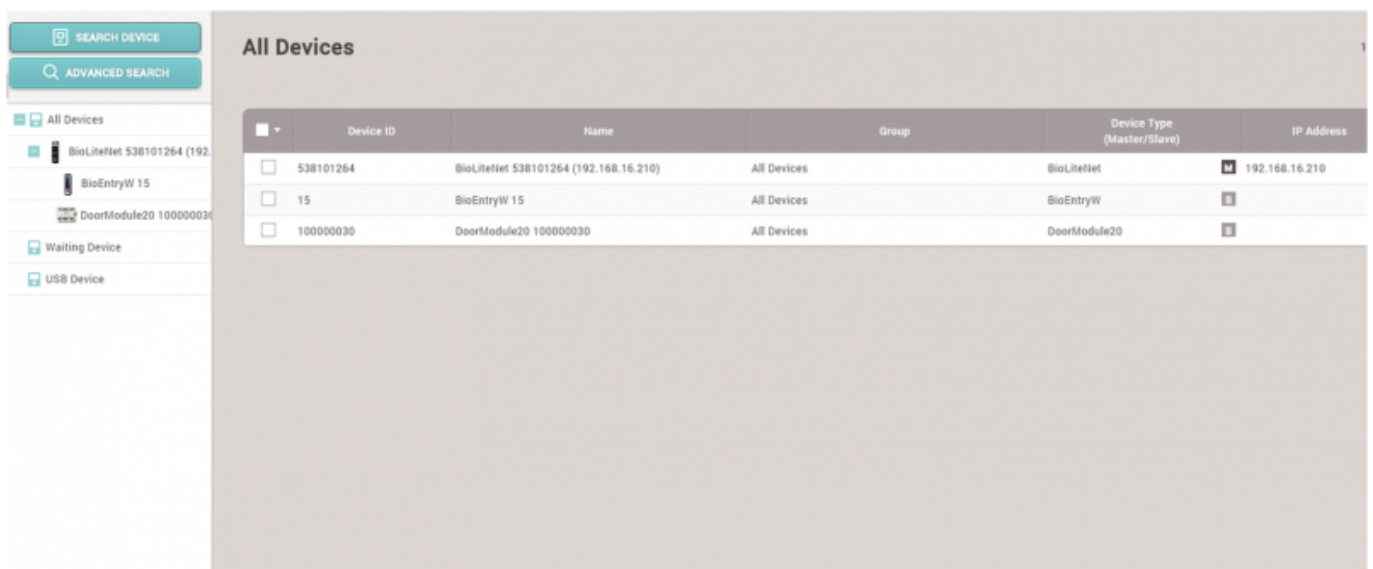
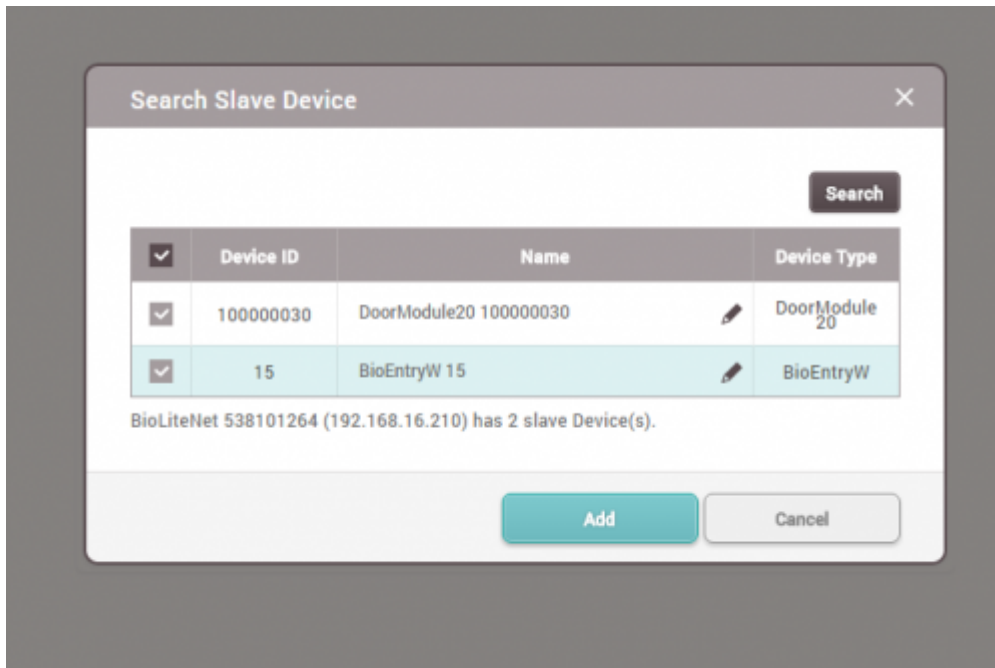


- マスター：論理的決定を下してローカルゾーンを制御します。
スレーブ：クレデンシャル情報を認識してマスターデバイスに送るダミーリーダーとなります。

2. マスターデバイスが検索できるよう、デバイスをスレーブモードに変更してください。RS-485ケーブルを通じてマスターデバイスにアクセスし、物理的配線リンクを確認した後、BioStar 2に移動してください。デバイスメニューに移動してください。デバイスツリーでマウスを右クリックした後、スレーブデバイス検索をクリックしてください。



3. 検索結果を確認し、追加ボタンをクリックしてください。デ이지チェーンを利用して最大31のスレーブデバイスがアクセスでき、そのうち最大8つの指紋デバイスをアクセスすることができます。しかし、同時に複数のデバイスで複数の指紋マッチングを行わなければならない場合には、最適なマッチング性能のため、制限された個数のスレーブ指紋デバイスの使用をお勧めします。



動画デモ

[devices.mp4](#)

From:
<http://kb.supremainc.com/knowledge/> -

Permanent link:
http://kb.supremainc.com/knowledge./doku.php?id=ja:how_to_add_devices&rev=1569550411

Last update: **2019/09/27 11:13**